

安全データシート (SDS)

作成日 2024年10月1日

1. 化学品（製品）及び会社情報

製品名 : JA-412 シリコン樹脂ガラスクロス
会社名 : 株式会社ジャパンアイビック
会社住所 : 〒262-0045 千葉県花見川区作新台5丁目4番1号
担当部門 : 開発営業部
電話番号 : 043-259-9461
FAX番号 : 043-259-9571
緊急連絡先 : 043-259-9461
推奨用途 : 空調用たわみ継手材料 / 一般工業用
整理番号 : 0031

2. 危険有害性の要約

GHS分類 物理化学的危険性 : GHS分類に該当するデータなし
皮膚腐食性 / 刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷性 / 刺激性 : 区分2B
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分3 (気道刺激性)

GHSラベル要素

絵表示 : ガラス長繊維は成形品のためGHSの適用範囲外
注意喚起語 : 該当なし
危険有害性情報 : 分類基準に該当しない。但し本製品を加熱すると熱分解生成物が発生する。融点以上に加熱をしたり、長時間200℃以上高熱ばく露させるとホルムアルデヒド、ケイ素酸化物及び炭素酸化物または、窒素酸化物 (NOx) などの有害性物質を含むガスが発生する。

3. 組成及び成分情報

(ガラス繊維クロス)

単一製品・混合物の区分 : 収束剤 / 結合剤を含む単一製品
一般名 : ガラス長繊維製品 (Eガラス)

主要原料・添加物	CAS No.	含有量 (%)
主要原料 : アルミノ硼けい酸ガラス	65997-17-3	>98
付加物 : 表面処理剤	—	<2

※ガラスは化審法における官報公示整理番号及びPRT法・安衛法における政令番号に該当する化学物質ではない。

(表面処理材)

単一製品・混合物の区分 : 混合物
一般名 : アルミニウム混合シリコン樹脂

主要原料・添加物	CAS No.	含有量 (%)
主要原料 : ヘキサメチルジシラザン処理シリカ	68909-20-6	社外秘
添加物 : 二酸化チタン	13463-67-7	
添加物 : オクタメチルシクロテトラシロキサン	556-67-2	
添加物 : アルミニウム	7429-90-5	
添加物 : オレイン酸	112-80-1	
添加物 : ミネラルスピリット	8052-41-3	
添加物 : 芳香族系炭化水素	64742-95-6	
添加物 : キシレン	1330-20-7	

※これらの物質は、製品内でしっかりと結合しているため、粉塵吸引の危険性の原因にはならない。
また、ガラス繊維に含浸処理を施した後は、キシレンなどの揮発性成分は殆ど発生しない。

4. 応急措置	
吸入した場合	: 加熱や燃焼、裁断などによって生じたガス・粉塵・煤煙・ヒューム等を多量に吸入した場合には直ちに新鮮な空気の場所へ移動させ安静にする。嘔吐物は飲み込ませないようにさせ、適切な応急処置を施し直ちに医師の手当てを受けさせること。
皮膚に付着した場合	: 粉塵や物質が皮膚に付着した場合は石鹼などを使用して水やお湯で十分に洗い落とす。溶剤やシンナーなどを用いて洗浄しないこと。必要によって医師の診断を受けること。
眼に入った場合	: 絶対にこすらないこと。大量の清浄な水で最低15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗い流し出来るだけ早く医師の診断を受けること。
5. 火災時の措置	
消化剤	: 散水、炭酸ガス、ドライケミカル、泡等
消火方法	: 消火剤を用い、風上から消火作業を行う。
消火を行う者の保護	: 消化を行うときは必ず空気呼吸器や耐熱着衣などの保護具を着用する。消火を行なう者の特別な保護具及び予防措置
特定の危険有害性	: 燃焼または熱分解により有害ガスが発生する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項	: 鼻や口からの摂取、眼に入らないように留意する。
保護具及び緊急措置	: 特に保護具などは必要ない。
環境に対する注意事項	: 環境においては長期間分解せず、環境汚染の原因となるため、河川などに放出しない。海洋生物、鳥類が誤って食べることがあるので、いかなる海洋や水域にも投棄、放出をしてはならない。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱いや設備での注意	: 禁煙、周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。眼や皮膚に触れたりしないように必要に応じ手袋、保護眼鏡(ゴーグルタイプが望ましい)、粉塵マスク(国家検定品)を使用する。
保管上の注意	: 雨水などがかからないように注意する。直射日光、白熱灯や水銀灯等高温や強い紫外線を出す照明の近くには保管しない。また保管場所は施錠して保管する。
概要	: 適切な取扱いを行なう限り、人体に悪影響を及ぼしたという報告は、これまでにない。
毒性	: 適用されず。
人体への影響	: アレルギー体質の方は、接触により皮膚障害を起す可能性あり。必要に応じて、触れた箇所を石鹼にてよく洗浄する。症状によっては医師の診断を受ける。
安全性	: 通常の状態では特に問題は無いが、酸化性固体ないし酸化性液体に化学的反応をする場合があるため一緒に保管をしない。
8. 暴露防止及び保護措置	
静電気対策	: 除電対策(除電テープ・静電気除去装置など)をする。帯電防止性能を有する、長袖の保護衣および安全靴を推奨する。
排電対策	: 作業時に発生する煤煙・ガス・ヒューム・粉塵の排気装置を準備すること。
呼吸器の保護具	: 排気が不足している場合は、有機ガス用防毒マスクを着用すること。
手の保護具	: 必要に応じて、化学薬品の浸透しない材質の手袋をちやくようさせる。
眼の保護具	: 保護メガネを着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	: シート状
色	: メタリック調の銀色
臭い	: 微臭
融点	: 情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 情報なし
可燃性	: 難燃性
引火性	: 引火しない
分解温度	: 情報なし

pH	: 該当しない
溶解度	: 水に不溶
蒸気圧	: 情報なし
粒子特性	: 情報なし
比重（相対密度）	: 約 2.6 ; 塊状（ガラス繊維）
<hr/>	
10. 安定性及び反応性	
反応性	: 通常取り扱いにおいては安定である。
化学的安定性	: 一般的な貯蔵・取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性	: 一般的な貯蔵・取扱いにおいては安定である。
避けるべき条件	: 加熱すると熱分解生成物が発生する。長時間 200℃以上高熱ばく露させるとホルムアルデヒド、ケイ素酸化物及び炭素酸化物または、窒素酸化物（NO _x ）が発生する。
混触危険物質	: 火気に近づけない。また、酸化性固体ないし酸化性液体に化学的反応をするため一緒に保管をしない
危険有害な分解生成物	: 燃焼時によりホルムアルデヒドなど有害ガスが発生するおそれがある。
<hr/>	
11. 有害性情報	
急性毒性	: 知見なし
皮膚腐食性／刺激性	: 知見なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 知見なし
生殖細胞変異原性	: 知見なし
発がん性	: 知見なし
生殖毒性	: 知見なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 区分 3（気道刺激性）。 職業ばく露で一時的な気道刺激性が認められているが、ばく露がなくなると消失する。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 分類できない。ガラス長繊維は吸入の可能性がなく、また労働者の疫学調査においても健康への有意な悪影響は認められていないとの情報がある。
誤えん有害性	: 知見なし
<hr/>	
12. 環境影響情報	
生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: 生分解性はないと考えられる
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
<hr/>	
13. 廃棄上の注意	
廃棄の方法	: 委託する場合は、各自治体の条例に従って許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。必ず有害性廃棄物用焼却炉などで焼却する。
<hr/>	
14. 輸送上の注意	
注意事項	: 転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に 行なう。水漏れ、高温放置、直射日光を避ける。
米国の道路・鉄道法令情報	: 該当しない国
際海上（IMDG）	: 該当しない国
際航空（ICAO/IATA）	: 該当しない
<hr/>	
15. 適用法令	
消防法	: 市町村条例に従うこと。
廃棄物処理法	: 廃プラスチックまたはガラス屑に該当。各都道府県の条例を確認のこと。
労働安全衛生法	: シリカ・四酸化鉄・二酸化チタンを含有しているが、シート状の成形品であり対象外である。
毒物及び劇物取締法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性などに関しては、いかなる保証をなすものでもありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

【参考文献】

- 「ガラス長繊維の人体に及ぼす影響」 : 硝子繊維協会平成5年3月発行
「ガラス繊維及びロックウールの労働衛生に関する指針の解説」 : 硝子繊維協会、ロックウール工業会平成5年6月発行
「人造鉱物繊維（MMMMF）繊維濃度測定マニュアル」

【参考資料】

- 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 : GHS分類結果データベース
GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成基準（JIS Z7253:2019）

- ①この安全データシートは、当社の製品を適正にご使用頂く為に必要で、注意しなければならない事項を簡潔に纏めたもので、通常の手扱いを対象としたものです。
 - ②本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱って下さい。
 - ③ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所見の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。
-